

2013 年度(平成 25 年度)

# 事業計画

2013年(平成25年)3月29日

学校法人 上智学院

## はじめに

学校法人上智学院は、本年（2013年）いよいよ上智大学創立100周年、上智短期大学（現・上智大学短期大学部）創立40周年、上智社会福祉専門学校創立50周年の節目の年を迎えました。この記念すべき年には、建学の精神の基礎となる「叡智（SOPHIA）が世界をつなぐ」の理解を深めるとともに先哲の志を受け継いで、本学院の独自性や優位性を高め、国際的評価を得る高等教育機関としてさらなる発展を遂げるため、以下の6つの柱を立てて事業を展開します。

- ① 創立100周年を記念する式典及び記念事業の企画と実施。
- ② 本学院の将来構想「グランド・レイアウト2.0」の策定。
- ③ 本学院の教育目的“Men and Women for Others, with Others”（他者のために、他者とともに生きる）に基づく人間教育（キャンパス・ミニストリーを含む）の充実。
- ④ グローバル化する国際社会で活躍する人材の養成。
- ⑤ ガバナンスとマネジメントの整備。
- ⑥ キャンパス整備とそれに連動したICT環境の再構築による教育研究環境の向上。

以下、Ⅰ～Ⅲに今年度の重要課題及び予算方針を掲示します。

今後も継続的に事業計画を検証し、人事面、組織面、財政面を含めて選択と集中を進め、持続可能な発展に向けて事業に取り組みます。

## Ⅰ. 創立100周年にあたって

2013年11月1日に創立100周年記念式典を挙行するとともに、本学院の教育精神に沿った種々の企画を創立100周年記念事業（大学部門、短大部門、社専部門、3校共通部門、募金部門、記念誌編纂部門）として実施していきます。現在予定されている創立100周年記念事業は下表のとおりです。

また、次の100年のさらなる発展を支える基盤を強化するために、今後の10年から15年を眺望する将来構想「グランド・レイアウト2.0」を策定します。

《 上智学院及び各校が主催する創立100周年記念事業の例 》（2013年3月27日現在）

＜1. 記念式典＞	
11月 1日(金)	上智大学創立100周年記念 感謝ミサ／式典／祝賀会
11月 17日(日)	上智社会福祉専門学校創立50周年記念 講演会／シンポジウム
12月 21日(土)	上智大学短期大学部創立40周年記念 多文化共生シンポジウム
＜2. 上智の精神・歴史＞	
8月 9日(金)～11日(日)	キリシタンシンポジウム「大航海時代の歴史探訪－大友宗麟とザビエルの邂逅をとおして－」【大分市】
8月 25日(日)	細川ガラシャ祈念祭・ミサ【大阪市】 ※細川ガラシャオペラ 1)12月26日(木)【東京 紀尾井ホール】 2)1月26日(日)【長岡京市】
12月 7日(土)	東アジアイエズス会系5大学によるザビエル国際シンポジウム「東アジアの社会とイエズス会大学教育」【東京 四谷】

### ＜3. 海外の大学等との連携＞

- 8月6日(火)～13日(火) カンボジア・ミャンマーへの建学の精神を学ぶ旅【東南アジア】  
9月9日(月)～10日(火) ジョージタウン大学との共催シンポジウム【アメリカ・ワシントンDC】  
9月27日(金) ルクセンブルク大学・ケルン大学との共催シンポジウム「先端科学技術と生命倫理」【ドイツ・ケルン】  
11月14日(木)～16日(土) 上智大学・西江大学スポーツ・文化交流会(SOFEX)【東京 四谷】  
2014年3月14日(金) グレゴリアン大学との共催シンポジウム「アジアにおける大学の役割」【イタリア・ローマ】  
～15日(土)

### ＜4. 教育・社会との連携＞

- 5月31日(金)～6月2日(日) 上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)【東京 四谷】  
7月20日(土) 岩波書店との100周年合同シンポジウム「グローバル化時代における教養教育」【東京 四谷】  
9月14日(土)～15日(日) 藤女子大学との共催企画【札幌市】  
9月22日(日) エリザベト音楽大学・東京音楽大学・上智大学3校共催「平和への祈りコンサート」【広島市】  
9月29日(日) 上智福岡中学高等学校との共同企画コンサート・講演会【福岡市】  
10月5日(土) 静岡サレジオ小・中・高等学校との共同企画講演会「カトリック教育における国際性」【静岡市】  
10月12日(土) 南山大学との共催シンポジウム【名古屋市】  
11月30日(土)～12月2日(月) JICAとの共催国際環境シンポジウム「3R推進に関する東アジア専門家会合一循環文化の構築を求めて」【東京 四谷】

(注) 開催日、企画内容は変更になる可能性があります

## II. 重要課題と事業計画

### A. 上智学院

#### 1. グローバル化を推進する全体的方針を定め、施策を戦略的に実行する

- ① 「グローバル30」(2013年度をもって補助期間終了)後の本学院のグローバル戦略の確立と地域別戦略地図(マッピング)の作成
- ② 海外拠点の整備・運営(ルクセンブルク、カンボジア、東アジア・カトリック協定校4校の海外拠点化)
- ③ ASEAN、オーストラリア、インド、アフリカ等の国・地域との連携の強化
- ④ キリスト教をベースとしたネットワークの活用による教育機関等との連携の促進(アジア・キリスト教大学協会への加入など)
- ⑤ 国際的評価を得るための推進基盤となるガバナンスとマネジメントの整備計画の検討
- ⑥ 大学ポートレートの活用を含めた戦略的な情報公開を進め、ステークホルダーをはじめ広く国内外に発信

#### 2. キャンパス整備とそれに連動したICT環境の再構築を推進する

##### (1) 四谷キャンパス

- ① 新棟計画の推進
- ② 教育研究環境の改善を目的とした3・4・8・9号館の改修計画の推進

- (2) 市谷、目白聖母、石神井、祖師谷、秦野キャンパス  
各キャンパスの整備の推進
- (3) ICT環境  
キャンパス計画に連動させたICT環境の整備計画の立案
- 3. 東日本大震災等大規模災害への対応を引き続き行う  
東日本大震災などの大きな災害に見舞われた学生に対する様々な学生支援の継続
- 4. スクラップ&ビルドにより人事・組織・財政状況の改善を図る
  - (1) 収入多角化と財政安定化の推進
    - ① 収益事業法人（事業会社）の設置に向けた計画の立案
    - ② リスク管理手法の高度化による中長期での安定的資産運用収入の確保
    - ③ 人件費、教育研究経費、管理経費、施設設備関係支出等の削減目標値を定めた抑制と効果的支出の実現
  - (2) 教職員のパフォーマンスの向上
    - ① 教職員の適正配置と組織の改編の検討と実施
    - ② 2014年度に改正される職員人事制度の詳細の検討
    - ③ 男女共同参画のさらなる推進

## B. 上智大学

- 1. 学士課程・大学院課程の改革推進
  - (1) 新設学部を設置し、学部学科・研究科専攻等の再編を進める
    - ① 本学のミッションを踏まえた新しい国際性・グローバル化に対応した新設学部の開設準備（2014年4月開設）
    - ② 既存の学部学科等の教育研究組織の再構築と、それを踏まえた開講科目数及び専任教員数の見直し
  - (2) 教育の質の保証・向上を目ざし、カリキュラムポリシーと連動させながら教育課程を改革する
    - ① 教養教育の抜本的改革
    - ② 科目ナンバリング制度導入によるカリキュラムの体系化
    - ③ グローバルコンピテンシー・プログラム（複数コース）の開設
    - ④ 国内外の他大学院との連携によるダブルディグリー課程の開設
    - ⑤ 学外機関（国際機関、経済団体、NPOなど）との教育連携体制の構築と推進
  - (3) 選ばれる大学に向けて入学者選抜の方針を検討し、その方法を改革する
    - ① 入学者選抜（選考）と入学許可のあり方についての抜本の見直し
    - ② TEAPを活用した新しい一般入試制度の導入
    - ③ 入学定員の調整や入学者選抜方法の改革による定員充足率の改善
  - (4) 社会人教育、生涯学習に資する教育プログラムを開発し、実践する
    - ① 特化したテーマのもとで社会人と本学学生が共に学ぶ教育プログラムの開発
    - ② 生涯学習の一環としての博士前期課程プログラムの検討
- 2. 研究基盤及び学術情報基盤の整備
  - (1) 研究推進体制の充実と知的財産の活用を推進する
    - ① 教員教育研究情報データベースシステムの更新と教員の教育研究活動についての

#### 積極的な情報発信

- ② 重点研究分野への学内資源の重点投資による研究活性化策の立案
  - ③ 本学の研究活動と社会的要請とのマッチングによる産官学連携の推進
- (2) 学内情報システムに係る体制の見直しとICT環境の整備計画を立案する
- ① 情報システム関係部署の統合と、それに伴うシステム管理体制の再構築
  - ② 2014年度実施予定の事務系基盤システム更新の計画策定

### 3. グローバル化への取組み

- (1) キャンパスの更なるグローバル化に向け、外国人留学生を積極的に受け入れる
- ① 地域バランスを考慮した海外指定校の拡充と外国人留学生数の増大
  - ② サマーセッション、短期プログラムの複数回開講及び新設
  - ③ 新興国からの大学院への受入れの促進
- (2) グローバル人材育成のための教育・学術交流プログラムを充実する
- ① 文部科学省グローバル人材育成推進事業(2012年度採択)による教育プログラムの推進
  - ② 大学院理工学研究科英語コースの開設(2013年9月)と既存英語コースの持続的・安定的な発展策の検討
  - ③ 交換留学・一般留学・短期海外派遣の促進と海外協定校の拡充
  - ④ 言語教育研究センターにおける新たな語学教育カリキュラムの策定及び言語教育の改善と強化
  - ⑤ グローバル教育センターにおけるグローバル教育プログラムの体系的整備と実践型教育プログラム(サービ斯拉ーニング、インターンシップなど)の充実
  - ⑥ 海外の学生のニーズに則したオンデマンド型講座の増設
  - ⑦ 教員・研究者の海外との学術交流の活性化とネットワーキングの強化
  - ⑧ ASEAN諸国の大学との連携による教育プログラムの開発
- (3) 自主性や国際感覚を培うための学生支援を推進する
- ① 祖師谷キャンパス内の寮整備及び授業、イベント等による教育的活用策の検討
  - ② 奨学支援、生活支援及び健康保持・増進支援の各事業の実施
  - ③ 外国人留学生に対する日本の文化・慣習の習得教育の充実と国内インターンシップの機会の拡充
  - ④ グローバルキャリアを志向する学生に対する体系的支援策の実施
  - ⑤ 幅広い人間性、高い倫理観、自律性を身につけるキャンパス・ミニストーリーの推進

## C. 上智大学短期大学部、上智社会福祉専門学校、聖母大学、聖母看護学校

### 1. 上智大学短期大学部

- (1) カリキュラムポリシーを反映させた授業科目を充実する
- ① 高等教育ファーストステージとして接続教育を考慮した教養科目の充実
  - ② TOEIC実践対策講座科目開講による実践的英語力の育成
- (2) グローバル人材育成に向けた取組み
- ① 海外大学との協定締結による海外短期語学講座(短期留学)の充実と、半期(セメスター)留学制度構築を見据えた協定締結の検討
  - ② サービスラーニング活動による地域に根付いた国際教育の充実

- (3) 学生ニーズに対応した学生支援を充実する
    - ① Loyola 導入による学生ポータルサイトの充実
    - ② サービスラーニングセンターの「学生総合支援センター」への転換による教育、学生生活、進路指導の総合化の検討
  - (4) 戦略的な入試制度の改革を実施する
    - ① 第2期 A0 入試における地方会場の充実（長野、静岡地方会場での新規実施）
  - (5) 自己点検・評価を実施し、質保証を図る
    - 2014 年度短期大学基準協会による第三者評価を控えた自己点検・自己評価の実施
2. 上智社会福祉専門学校
    - ① 介護福祉士養成のための「新たな介護福祉士養成課程（通信）」の開設準備
    - ② 幼稚園教諭免許取得のための幼稚園教諭養成課程を持つ大学との連携に向けた検討と準備
  3. 聖母大学
    - 上智大学での助産学専攻科（仮称）の設置に向けた申請業務への協力の開始
  4. 聖母看護学校
    - 学生定員の適正化及び適切な看護教育の実践に向けた将来計画の策定

### Ⅲ. 2013 年度（平成 25 年度）予算方針と計画の概要

1. 消費収支全体
  - ① 恒常的支出の抑制と効率的な予算配分による財政基盤の強化の継続的推進
  - ② 学校法人上智学院及び各学校の消費収支均衡を目標とする施策の推進による安定的発展の確保
2. 人件費
  - (1) 基本方針
    - ① 人的資源の活用を図ることによる、教育研究のさらなる充実、業務の合理化・効率化の推進
    - ② 人件費総額の可能な限りの抑制
  - (2) 具体的措置
    - ① 教員人件費：適正配置、組織体制の見直し等による教員採用の最適化
    - ② 職員人件費：パフォーマンス向上と適正配置による専任職員採用の可能な範囲での抑制
3. 研究費
  - ① 各大学、学校の専任教員等各個研究費（総額 219.0 百万円）、学内共同研究費（総額 34 百万円）は、前年度予算と同額据置き
  - ② 効果的な重点配分を目的とした理工学部研究費を含む研究費制度の 2014 年度実施に向けた見直し
4. 学部・研究科等予算
  - 学部・研究科等の運営に係る予算は、前年度予算に対し、予算単位ごとの総額で 2%

を削減（総額 366.5 百万円）

5. 教育イノベーション・プログラム予算

教育の活性化や発展に寄与する取り組みに対する予算措置（上智大学 総額約 26 百万円、上智社会福祉専門学校 総額約 0.2 百万円）

6. 教職協働・職員イノベーション研究

教職員が協働して学院改革に向けた調査研究を行う取り組みに対する予算措置（上智大学 総額 1.5 百万円）

7. 奨学・奨励制度

- ① 募金への寄付を原資とする奨学・奨励制度の新たな設定
- ② 東日本大震災被災学生に対し、入学検定料免除、授業料等学費支援、生活支援等様々な側面からの支援を 2013 年度も継続して実施（支援総額 64.8 百万円）
- ③ 上智大学祖師谷国際交流会館へ入居する外国人留学生や日本人地方出身学生の国際交流促進を生活面でも支援
- ④ 各学部・学科独自の奨学金制度拡充に向けた教職員募金活動のより一層の活発化

8. 省エネルギー、環境問題への対応

- ① 慢性的な電力不足、温室効果ガスの排出量の削減や燃料費高騰に対応した本学院の省エネ基本方針の策定・見直し
- ② エネルギー使用量減による経費節減と自然環境に配慮したエネルギーの使用の検討

9. 運営部門等の予算

- ① 各種研究費及び学部等予算と奨学費予算以外の経常予算について、2012 年度（平成 24 年度）予算に対し、予算単位ごとに総額で 2%削減
- ② 会議費・渉外接待費・その他の福利費予算の必要最低限化
- ③ 合見積りの徹底等によるさらなる支出削減
- ④ 予算の計画的執行の推進（2 月下旬までに予算の執行停止）
- ⑤ 物品の購入費、システム関係経費の執行時内容再確認による支出抑制

10. 適正な研究費予算執行に向けた取り組み

- ① 教職員の予算適正執行への意識醸成・喚起のための様々な広報活動の継続
- ② 購入物品等検品・検収の継続的な徹底

## 結 び

学校法人上智学院（上智大学、上智大学短期大学部、上智社会福祉専門学校、聖母大学、聖母看護学校）は、現代社会が抱える課題（高齢化、グローバル化、社会構造の変化等）に加え、いわゆる「2020 年問題」（18 歳人口の再減少）を始めとする将来の教育・研究を取り巻く厳しい環境をも踏まえ、国際的評価を得る高等教育機関としてさらなる充実発展を図るため日々の努力を重ねています。

創立 100 周年にあたり「叡智（SOPHIA）が世界をつなぐ」との理念と “Men and Women for

Others, with Others”（他者のために、他者とともに生きる）の教育目的とを常に意識しながら、教育活動、研究活動並びに社会貢献及び国際貢献における質・量をそれぞれ向上させ、日本そして世界の発展に寄与する人材を養成し続け、「世界に並び立つ大学」に進化することを目指します。